

# 東 都 大 学 図 書 館

通信 幕張キャンパス 第11号

【編集】幕張分館司書 妹川千洸

【編集協力】幕張分館図書館運営委員会

看護学科…………渡會丹和子・土居悦子・

阿部由喜湖

理学療法学科…舟橋久幸・平野康之

臨床工学科…………土井根礼音

## 2月特集

2022年も1ヶ月経ちましたね！

みなさんは、2022年に何がしたいですか？

私は、ヒョウモントカゲモドキを飼いたいです。知っていますか？  
知らない人は、是非検索してみてくださいね(‘ω’)

さて！

今回は2ヶ月間にわたり「幕張キャンパスで撮影された映画やドラマの小説」を  
特集コーナーにてご紹介します🌟

ご紹介するのは、残念ながら全てではございません…（大人の都合により）

なので！

**小説をドラマ化、またはドラマを小説化したもの**を、2月と3月に分けてご紹介します。  
2月は、2015年～2018年に撮影された映画やドラマです！

それではご紹介していきます(\*’▽’ )🌟



タイトル

主演

撮影場所

『警視庁生活安全課0係』

小泉孝太郎

本館3階研修室

『揚げば尊し』

寺尾聰

東館1階ロビー全体

『リバーズ』

藤原竜也

『ドクターヘリ コード・ブルー』

山下智久

本館4階4022特別会議室

『リピート』

貫地谷しほり

本館1階から東館1階ロビー

『ブラックペアン』

二宮和也

本館4階4022

『石つぶて』

佐藤浩市

本館2階「渚」

『絶対零度～未然犯罪潜入捜査～』

沢村一樹

本館2階「渚」

# 3月特集

2月に続いて3月は、2019年～2021年に撮影された映画やドラマです！

どんどんいきます(‘ω’)

タイトル	主演	撮影場所
『ノーサイド・ゲーム』	大泉洋	本館2階「チェアマン室」他
『ハラスメントゲーム』	唐沢寿明	1階駐車場
『竜の道』	玉木宏 高橋一生	本館4階 「4022特別会議室」
『うつ病九段』	安田顕	本館2階「やわらぎ」
『ディアペイジェント』	貫地谷しほり	東館1階ロビー、本館4階シンポジウムホールトイレ他
『総理の夫』	田中圭 中谷美紀	本館2階「チェアマン室」
『監察医朝顔』	上野樹里	東館1階ロビー全体

いかがでしたか？

これほど多くの映画やドラマが、本キャンパスで撮影されていたとは驚きですね(°Д°)！！

撮影場所も表記しましたので、

改めて聖地巡礼という名の大学探検をしてみてください(\*'▽')

ご紹介したドラマの小説を特集コーナーに配架しているので、是非ご覧ください☆

## 渋沢栄一 特集

みなさん、令和6年に1万円札の顔が変わりますよね！  
誰かご存知でしょうか？

そうです！近代日本経済の父といわれ、

大河ドラマ「青天を衝け」の主人公でもある**渋沢栄一**です！

約500の企業の設立や育成に関わり、600もの社会事業に携わったという圧倒的な事績の持ち主です。

そんな渋沢栄一の関連図書を特別配架しているので、是非こちらもご覧ください☆



# 先生のオススメ図書

## 『アルツハイマー征服』

幕張ヒューマンケア学部 学部長 勝部憲一

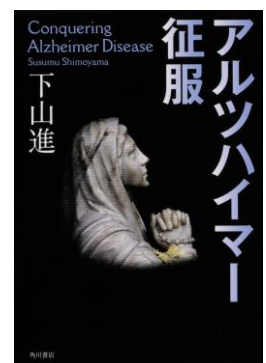
深谷から幕張に異動して通勤時間が往復1時間半と短くなったが、往復は専ら読書に充てている。内容の軽重はあるが月3, 4冊だろうか。割合読書する方だと勝手に自惚れていたら、日経書評欄で紀文社長の堤裕氏が、「1時間の通勤車中で2日に1冊、年200冊読む」と書いている。マケマシタ！

それはさておき2021年読んだ本で印象に残ったのが、年初刊行の「アルツハイマー征服」だ。自分が学生だった1980年初頭、病理学でアルツハイマー病を初めて知り、「ほお、これはこえーなあ」なんて呑気に思ったことを思い出す。しかし今のように一般人までが普通に知る病気になるとは、思ってもみなかった。認知症の増加予測は年ごとに鰻登りで、今は2025年に700万人超、実に国民16人に1人が認知症になると予測されている。そんな状況下で出版されたこの本は、アルツハイマー病の解明そして治療法開発をルポスタイルで綴っている。エーザイの杉本八郎氏のエピソードを中心に、今焦点となっている抗体療法（アデュカヌマブ）のFDA承認審査まで息つく暇もなく語られ、最後まで一気に読ませる。

創業に関わる製薬会社の厳しい競争や駆け引きが克明に描かれ、決して心地よい話ばかりではない。しかしその真剣さは我々研究に携わる者の共感を呼ぶ。アルツハイマー病戦略は1980年代アメリカのレーガン大統領が打ち出した。1970年代に「がん撲滅計画」をぶち上げたニクソン大統領を意識したと噂されるが、莫大な研究費が投入された。その結果確かに解明は進んだが、数々の問題も起こった。その一つが「研究不正」で、アルツハイマー病に関わる論文で「発表結果を再現できない」ものは少なくない。本書でもヒギンズが1991年Nature誌に出したマウスのアルツ再現遺伝子操作実験でヒト組織の写真を使うとんでもないねつ造をやらかした例が、紹介されている。しかしそれは氷山の一角に過ぎない。莫大な研究費に群がった研究者の中には山師的性格の者も少なからずいて、攻撃的でセンセーショナルな言動も多々あった。本書でも紹介される西本育夫氏も、ハーバードから慶應医学部教授に着任してからの様々な言動を私は聞いている。なかなか進まない研究に焦りを覚えてか、西本氏が突然「西本征央」と改名してびっくりしたことも思い出す。業半ばの47歳にしてスキルス癌で早世した彼は、死の間際人生をどう思っただろうか。

アルツハイマー病撲滅は依然としてできてないが、機序はかなりわかってきた。そのひとつがかなり早い時点からのβアミロイド蓄積だろう。発症のおよそ30年前に始まるということは、40代にはプロセスが始まることになる。現在治験が始まった抗体医薬だが、案の定問題が多い。発症してからでは使えない、激しい免疫反応が起こる、超高額など実用化の道は険しい。しかしその開発に全力を傾ける人たちの情熱を感じさせるのが、この本だ。最後にひとつ。治療薬を手がける一人の研究者が自らアルツハイマーを発症し、開発成功を夢見ながら人生を閉じていくのが何とも哀しい。

『アルツハイマー征服』下山 進  
KADOKAWA 2021年



## 2月の開館について

2月27日まで以下の通り開館します。

開館日：平日 9時～19時

休館日：土曜日、日曜日、祝日

- ・2月14日（月）は14時～19時
- ・2月21日（月）は9時～17時
- ・2月28日（月）～3月11日（金）まで



### 蔵書点検のため休館

\*上記より変更する場合、ポータルサイト・掲示にてお知らせします。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館に入館する際には引き続き以下のことに留意してください。

- ① 短時間、少人数で利用してください。  
特に集団での来館は避けてください。  
館内の状況によっては、入館の時間をずらしてもらったり、退館のお願いをしたりすることがあります。
- ② 入館時はマスクを着用し、手指消毒（入口に消毒液を設置）をしてください。
- ③ 図書館利用時は、入口の「入退館記録」に学籍番号・氏名・入退館時間を記入してください。  
万が一、学内で感染者や濃厚接触者が出た際の追跡に利用します。
- ④ 館内は換気のため、出入口・窓を常時開放しています。  
寒さや暑さの対策は個人でおこなってください。  
空調の調節や窓の開閉は図書館職員がしていますので、何かありましたらカウンターまで申し出てください。
- ⑤ その他、図書館職員の指示に従ってください。

図書館運営にご理解、ご協力をお願いします。



卒業をされる学生さんたちへ

貸出をされている図書は、  
**2月末までに返却をお願いします！**

卒業ぎりぎりまで貸出希望の方は、ご相談くださいね

